

## 採択した研究テーマ一覧(H17～R8)

令和8年5月29日

(公財) 車両競技公益資金記念財団

## 【がん】

No	事業年度	助成先名称	実施内容	論文ページ
1	H17	古田 玲子	ヒトパピローマウイルス感染と子宮頸がんの発生	◆
2	H17～H19	佐田 通夫	肝発癌にみられる細胞内シグナルの活性化機構とその抑制	◆
3	H17～H19	山田 順子	白血病の腫瘍生物学的分子機能解明と最適化分子標的治療の開発	◆
4	H17～H18	深井 文雄	インテグリン機能調節を介したがん細胞のプログラム細胞死誘導	◆
5	H17～H19	清宮 啓之	生体の恒常性維持機構を標的とした新たながん治療法の開発	◆
6	H17～H18	鳥越 秀峰	テロメア結合蛋白質とテロメラーゼによるテロメア調節機構	◆
7	H17～H18	田中 信之	癌抑制因子 p 5 3 の新たな細胞制御機構の解析	◆
8	H17	北島 政樹	見張りリンパ説を標的とした微小リンパ節転移診断法の確立と新しいリンパ節転移制御療法の開発	◆
9	H18～H20	広田 亨	Auroraキナーゼによる染色体の制御機構に関する研究	◆
10	H18～H20	仁木 利郎	肺癌の進展に関連した遺伝子の総合的解析	◆
11	H18～H20	池原 進	骨髄内骨髄移植とドナーリンパ球輸注法を用いた癌治療法の開発	◆
12	H19～H21	小林 猛	バイオ技術を駆使したマグネタイト微粒子製剤を用いるガンの温熱免疫療法の開発	◆
13	H19～H21	藤田 直也	がん幹細胞の生存と抗がん剤耐性化に関わる分子機構の研究	◆
14	H19～H21	梅原 久範	スフィンゴ脂質を分子標的としたガン治療法の開発	◆
15	H20～H22	河野 公俊	白金製剤による細胞応答としてのクロマチン複合体解析と概日リズム制御	◆
16	H20～H22	吉田 健一	がん関連マイクロRNAの探索と機能解析	◆
17	H20～H22	今村 健志	がん骨転移の分子メカニズムと転移制御	◆
18	H21～H23	安藤 潔	白血病モデルにおける幹細胞イメージングとニッチの同定	◆
19	H21～H23	原 英二	細胞老化の発がん促進作用に関する研究	◆
20	H21～H22	田沼 靖一	XIAPアンタゴニストのin silico分子設計による新規制がん剤リード化合物の創製	◆
21	H21～H23	廣松 賢治	癌栄養血管を標的とした新規癌遺伝子免疫療法	◆
22	H22～H24	河野 毅	がん細胞可塑性の分子基盤の解明	◆
23	H22～H24	山本 祐司	がん抑制タンパク質TSC2が制御するmTOR非依存的経路の解明	◆
24	H22～H24	竹内 賢吾	病理形態学を基盤とした独自のシステムによる新規融合遺伝子の同定	◆
25	H23～H25	坂元 亨宇	形態診断と分子診断による肝細がんの個別的診断法の確立	◆
26	H23～H25	富田 章弘	がん細胞の糖代謝と微小環境の相互作用の分子機構解明とその制御	◆
27	H24～H26	森 誠一	再発性および治療抵抗性卵巣がんに関与する変異遺伝子群の探索	◆
28	H24～H26	樋野 興夫	難治性中皮腫の新規分子標的・抗体治療薬の開発	◆
29	H25～H27	伊東 進	がん進展過程を制御するTGF-βファミリーの二面性メカニズム解明	◆
30	H25～H27	芝 清隆	がん細胞に由来するエクソソームの単離手法の確立	◆
31	H26～H28	吉田 清嗣	がん幹細胞の分子基盤解明と診断・治療に向けた応用展開	◆
32	H26～H28	旦 慎吾	ゴルジ体を標的とする新しいがん治療薬の開発	◆
33	H26	渡部 徹郎	がんの悪性化因子としての内皮間葉移行 (EndMT) の分子機序の解明	
34	H27～H29	田沼 靖一	c-Met Allosteric/Catalytic部位を標的とした新規Dual制癌剤の創製	◆
35	H27～H29	八尾 良司	がん特異的紡錘体制御機構の解明と新しいがん治療法開発	◆
36	H27～H28	福原 武志	がんの悪性化因子としての内皮間葉移行 (EndMT) の分子機序の解明	◆
37	H28～H29	幸谷 愛	microRNAが転写因子をレスキューするメカニズム	◆
38	H28～H30	片山 量平	臨床検体を用いた分子標的療法耐性機構の解明とその克服法の開発	◆
39	H29～H31	高橋 暁子	老化細胞分泌因子が発がんに関与する分子機構の解析	◆
40	H29～H31	深田 俊幸	がんにおける亜鉛シグナリングの役割解明：対がん創薬を目指して	◆
41	H29～H31	石原 慶一	新規ダウン症モデル、ダウン症遺伝子からのがん微小環境動態解明	◆
42	H30～R2	丸 義朗	レクチン様酸化LDL受容体-1の全身性がん転移制御機構の解明	◆
43	H30～R2	丸山 玲緒	トリプルネガティブ乳がんにおけるエピゲノム不均一性の解明	◆
44	H30～R2	谷口 浩二	炎症・再生シグナル伝達経路を標的とする新規がん治療方法の研究	◆
45	H31～R3	岡田 斉	膵がんの微小転移を制御するエピゲノム変化のin vivo評価系の確立	◆

No	事業年度	助成先名称	実施内容	論文ページ
46	H31～R3	斉藤 典子	ncRNAが関わる乳がんホルモン療法抵抗性獲得の個体レベルでの解析	◆
47	R2～R4	奥田 健介	がん微小環境標的薬の開発と新規創薬標的の同定	◆
48	R2～R3	小谷 典弘	がん細胞上分子会合体を標的とした新規抗体医薬創薬システムの構築	◆
49	R2～R4	堀江 公仁子	女性がん患者由来モデルに基づく性ホルモン作用の解明と臨床応用	◆
50	R2～R4	野澤 竜介	染色体動態解析によるがんの発生過程のゲノム不安定性の解明	◆
51	R3～R5	宮川 世志幸	デザイナー幹細胞を用いた腫瘍溶解性ウイルス送達システムの開発	◆
52	R3～R5	植田 幸嗣	細胞外分泌小胞中変異タンパク質を用いた膵がん早期診断法開発	◆
53	R3～R5	大石 篤郎	がん患者検体を活用したリガンド探索プラットフォームと治験法の開発	◆
54	R4～R6	津川 仁	胃内共生細菌による胃がん幹細胞の発生制御機構の解明	◆
55	R4～R6	北嶋 俊輔	微小核による核酸認識経路の活性化機構解明とがん免疫療法への応用	◆
56	R5～R7	岡本 康司	組織多層オミクスを用いた大腸がん進展機構の解明	
57	R5～R7	高松 学	AIを用いた病理組織・細胞画像による腫瘍の予後・遺伝子変化・治療感受性の予測法の開発	
58	R5～R7	佐野 紘平	がん組織への薬物移行性および滞留性を増強するナノ粒子型薬剤の開発	
59	R5～R7	細川 裕之	RUNX転写因子の機能破綻によるT-ALL発症機構の解明	
60	R5～R7	山口 英樹	スキルス胃がんのマルチクロール腹膜播種の機序解明と治療法開発	
61	R6	井上 大地	RNAの視点から挑む新たな白血病治療戦略の開発	◆
62	R6～R7	大学 保一	がん細胞で亢進するDNAポリメラーゼ機能の探索	
63	R7	石本 崇胤	ナノパーティクルを用いた腫瘍微小環境制御法の開発	
64	R7	川田 学	がん微小環境によるがん幹細胞維持機構の解明と抗がん剤への応用	
65	R7	福田 篤	ゲノム・エピゲノム複合的変異誘導システムを用いた女性特有癌化プロセスの解明と治療基盤の創生	
66	R8	八尾 良司	播種細胞で探る大腸がん転移の分子基盤	
67	R8	下田 将之	紫外光による腫瘍免疫誘導技術の開発～紫外光免疫療法の確立を目指して	
68	R8	金光 昌史	組織透明化3Dイメージングによる血管正常化腫瘍微小環境の解像	